



感染管理

風疹の流行

専従 末永 健二 本城 咲



風疹とは？ 風疹による感染症

症状：発熱、発疹、リンパ節腫脹を特徴とする

感染経路：飛沫感染（マスク、手洗いが重要）

潜伏期（症状が出るまでの期間）：14～21日

治療：対症療法のみ

風疹がなぜ問題となっているか？

先天性風疹症候群を引き起こすからです。

先天性風疹症候群とは

風疹の抗体を持たない妊娠20週頃までの妊婦が感染すると、風疹ウイルスが胎児に感染し、先天異常を含む様々な症状を呈する



出典：CDC
（米国疾病予防管理センター）

写真左：低出生体重
写真右：白内障

風疹ワクチンは接種していない年齢があります。

年齢によって異なる風疹の予防接種状況

出典：国立感染症研究所	男性	女性
1990(H2)年4月2日以降生まれ	2回個別接種	
1987(S62)年10月2日～1990(H2)年4月1日生まれ	幼児期に1回個別接種	
1979(S54)年4月2日～1987(S62)年10月1日生まれ	中学生時に医療機関で1回個別接種	
1962(S27)年4月2日～1979(S54)年4月1日生まれ	接種なし	中学校で集団接種
1962(S27)年4月1日以前生まれ	接種なし	

生涯**2回接種**が必要になります。
家族や身近に妊婦さんがいる場合は確認が必要です。